

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
110

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2025年8月29日

発行：せとうちDMO

発行人：國本・小原

住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

せとうち7県知事会議を開催

せとうち観光推進機構は8月26日（火）、都道府県会館（東京都千代田区）にて、せとうち7県知事会議を開催しました。
当日は各県知事（代理人含む）の皆さまに出席・オンライン参加頂きました。

本会議は、せとうちDMO設立10周年を機に、今後の広域観光戦略の強化と持続可能な運営体制の構築に向けて、関係各県知事およびDMO会長が意見を交わす場として開催されました。

湯崎広島県知事からは、DMOの成り立ちとこれまでの成果を振り返りつつ、戦略・実行力の強化、財源の安定確保、専門性の蓄積、各県との双方向連携の重要性が示されました。

池田香川県知事は、各県の観光資源を活かしたPR支援や、事業の透明性向上、アジア・国内市場への対応強化を提案。モデル事業の継続支援についても政府への働きかけを求めました。

村岡山口県知事は、欧米豪市場での成果が限定的である現状を共有し、認知度向上と来訪者増加への重点支援を要望。地理的課題への対応も求めました。

伊原木岡山県知事は、広域連携の意義を再確認し、県間の協力体制の維持・強化を訴えました。また、リーダーシップ継承にも言及がありました。

後藤田徳島県知事は、物販・輸出を含むDMC展開や、ゴールデンルートでの「せとうち」ブランド浸透、四国新幹線の必要性などを提案しました。

真鍋会長からは、今後の実務的議論の展開と、財源・人材確保の課題への対応、SBCファンドによる観光事業支援の成果が報告されました。また、観光庁との連携強化やデータ分析の深化を通じて、次の5か年計画の具体化を進める方針が示されました。

本会議を通じて、各県の課題と展望を共有し、今後の広域観光推進に向けた連携強化と戦略的な取り組みの必要性が再確認されました。

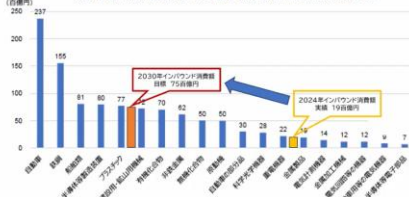
せとうち7県知事会議



2. 次期中期計画「せとうち観光成長戦略 2026-2030」

2030年せとうちエリア第6位の輸出産業へ

せとうちエリアにおけるインバウンド消費額と主要な製品別輸出額を比較（2023年）



せとうちクルーズ周遊船開発のための「シーパセオ」を活用した新航路実証

観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業のテーマの一つとしてクルーズ（内航船含む）を掲げており、クルーズ船の受入環境の高質化を図りながら、高付加価値旅行者によるクルーズでの瀬戸内海の周遊を実現するため、クルーズ事業の体系構築やクルーズ産業の増強を目指しております。

このたび、せとうちクルーズ周遊船（内航船）開発を検討するため、定期航路船「シーパセオ」を活用して、レストラン船をイメージしたせとうち周遊クルーズの新航路について実証を行いました。

開催日／2025年8月7日（木）

対象者／せとうちクルーズ開発に関心のある投資企業、
観光関係者、自治体職員、外国人モニター等約60名

内容／サンセットクルーズ（軽食・ドリンク付）

広島港⇄宮島周辺コースの検証、
シーパセオ船内視察、意見交換等

行程／18:30 広島港集合

18:50 広島港発

→せとうちDMO挨拶、

瀬戸内海汽船株式会社から挨拶/船内説明

→デッキにてサンセット鑑賞（19:10頃日の入り）

→19:40頃 宮島鳥居周辺にてライトアップ鑑賞

→20:40 海田湾

→21:00 広島港着



▲シーパセオ



▲当日の様子

船内ではウェルカムドリンクと尾道倶楽部による特別メニューをご用意し、参加者は料理やドリンクを楽しみながら、船上から広がる景色や参加者同士の交流を満喫しました。

多くの参加者から高い評価をいただき、具体的には「船内の雰囲気心地よく、夜景がとても美しかった」「軽食は見た目も味も素晴らしかった」といった声が寄せられました。さらに、今後に向けては「地元食材を活かした本格的な料理コース」「音楽やワークショップなどの船内イベント」「英語対応などインバウンド向けサービス」といった多彩なアイデアも挙がりました。

今回のクルーズは広島港発着の周遊コースでしたが、宮島～尾道、宮島～呉、江田島、周防大島、とびしま海道など、瀬戸内の島々を巡る多角的なコースを希望する声も多く聞かれました。

全体を通じて、参加者からはせとうちにおける周遊クルーズ開発への期待が強く示され、観光振興・地域活性化に向けた大きな可能性を感じさせる結果となりました。

瀬戸内アカデミー報告

瀬戸内アカデミー：第127回下瀬美術館から広がる体験
～アート・建築・宿泊・食が融合する複合施設SIMOSE～

今回のせとうちアカデミーでは、2025年3月発表の「せとうちDMOアワード」アート部門にて、最優秀事業者に選ばれた下瀬美術館様をお招きし、ご講演いただきました。

【下瀬美術館様の紹介】

下瀬美術館は、2023年に広島県大竹市に開館しました。
アートと建築の融合を象徴する施設として国内外で注目を集め、2024年にはユネスコの建築賞「ヴェルサイユ賞」美術館・博物館部門において最優秀賞を受賞するなど、世界的な評価を得ています。

敷地内には、宿泊施設、レストラン、庭園を併設した複合施設「SIMOSE」が広がり、建築設計は、世界で活躍する建築家・坂 茂 氏によるものです。美術館は、海沿いに広がる伸びやかな建築群と世界初の可動展示室を備えています。また、従来の常識を覆し、独自の発想で設計された10棟のヴィラや、内と外、キッチンとダイニングの境界を可能な限り取り払ったレストランがあり、どこに身を置いても、海、空、緑とつながる風通しの良い時間をお過ごしいただける施設です。



- ◆日時：2025年8月7日（木）14時～15時
- ◆講師：Shimose A&R株式会社 支配人 前砂志郎 氏
下瀬美術館 学芸主任 山本和毅 氏

インターンシップ生の紹介



広島大学から参りました、岡田と申します。幼少期から旅行に行く機会が多く、その経験を通じて観光業界に強い関心を抱くようになりました。出身地である神戸市と広島での学生生活を通じて、瀬戸内地域の魅力や可能性にも深く惹かれています。今回のインターンシップでは、短い期間ではありますが、観光戦略への理解を深めるとともに、瀬戸内の魅力を実際に体感し、発信する力を養いたいと考えています。よろしくお願いいたします。

せとうち観光推進機構のインターン生、芸術文化観光専門職大学3年生の芝です。愛媛県出身です。大学では、観光×芸術という視点で観光客を誘致する方法を考え模索しています。
先日は、インバウンドに人気のハイキングコース（広島東照宮）にフィールドワークで行かせていただきました。豊かな自然の中で広島歴史を学びながらのハイキングはとても気持ちがよく、頂上に登った時の達成感と頂上から見た景色は忘れられません。せとうちの魅力を感じたとともに職員の方から観光の仕事について伺い、観光業の面白さを感じました。せとうちDMOで多くのことを学び成長したいと思います。

